

平成30年8月10日(金) 12988号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 info@nikkankinzoku.co.jp
 EMail
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ12ヵ月 84,000円(税別)
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

6月パソコン国内出荷実績 法人向け堅調続く 出荷台数・金額とも3か月連続プラス

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) が発表した2018年6月のパーソナルコンピューター国内出荷実績は、出荷台数と金額がともに前年同月比でプラスとなった。JEITAは、法人向け需要が好調を維持していると分析した。

6月の出荷台数は、前年同月比2.5%増の65万7,000台。うち、ノート型は6.6%増の50万2,000台。モバイルノートは前月に続き56.7%の大幅増だった。一方、主力のA4型・その他は4.7%減少した。デスクトップは8.9%減の15万5,000台。パソコン単体は11.0%伸びたが、モニターとサーバーが一体となった「オールインワン」が45.4%減少。オールインワンは、大幅な減少幅が続いている。

出荷額は610億円で、前年同月比4.4%増加。ノート型は9.1%増の477億円で、モバイルノートは出荷台数の大幅な増加に伴い、出荷額も44.4%のプラスだった。一方、A4型・その他は2.6%減少した。デスクトップ型は9.7%減の133億円で、パソコン単体は11.6%のプラス

	6月実績	前年比	第1四半期	
			(4~6月)	前年比
出荷台数計(千台)	657	102.5%	1,614	106.6%
デスクトップ	155	91.1%	360	92.9%
オールインワン	33	54.6%	94	58.8%
単体	122	111.0%	266	116.9%
ノート型	502	106.6%	1,254	111.3%
(構成比)	76.4%	-	77.7%	-
モバイルノート	136	156.7%	352	146.0%
A4型・その他	366	95.3%	901	101.8%
出荷金額計(億円)	610	104.4%	1,567	109.0%
デスクトップ	133	90.3%	334	94.7%
オールインワン	50	68.8%	145	75.4%
単体	83	111.5%	189	117.6%
ノート型	477	109.1%	1,233	113.7%
モバイルノート	157	144.4%	412	143.2%
A4型・その他	320	97.4%	821	103.0%

だったものの、出荷の低迷が続くオールインワンは31.4%のマイナスだった。6月はモバイルノートが全体を押し上げた形となった。

パソコン出荷統計に参加しているのは、アップルジャパン(株)、NECパーソナルコンピュータ(株)、セイコーエプソン(株)、東芝クライアントソリューション(株)、パナソニック(株)、富士通(株)、(株)ユニットコム、レノボ・ジャパン(株)の計8社。

昭和電線HD第1四半期決算

昭和電線ホールディングスの2019年3月期第1四半期の連結決算は、増収増益だった。電力システム向けのほか、電装品向け巻線が好調に推移。銅相場の上昇も寄与した。

(単位：億円)

売上高	423.63
	8.9
営業利益	12.29
	3.1
経常利益	10.88
	18.0
当期純利益	8.12
	(黒字転換)

下段は前年同期比(%)

昭和電線HD 通年業績情報修正

昭和電線ホールディングスは、2019年3月期通期の業績予想を上方修正すると発表した。インフラ関連需要が想定を上回る見通し。営業利益は当初予想比9億円増の54億円、経常利益は10億円増の45億円、当期純利益は7億円増の33億円とした。

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

井関金属株式会社

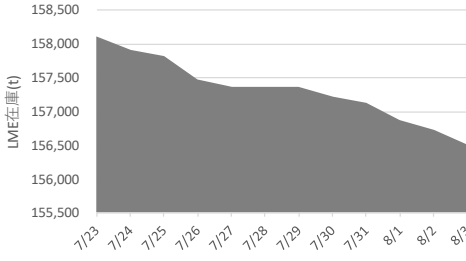
代表取締役 井関親亮

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

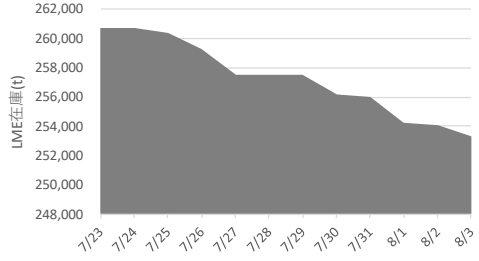
☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

LME認定倉庫在庫量推移 2018年7月23日～8月3日 (現地)

北米特殊



ニッケル



日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

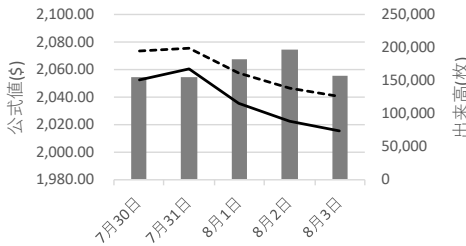


おしらせ

弊社(株)日刊金属は8月13～16日を夏季休業といたします。また、小紙『日刊金属』は8月13日付けから8月16日付けまでが休刊になります。なお、朝の外電は通常通り配信いたします。宜しくお願いいたします。

LME公式値週間推移 7月30日～8月3日 (現地)

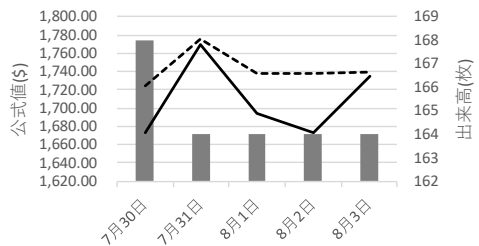
LMEアルミHG



	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日
出来高	156,562	155,208	183,380	198,454	157,236
直物	2,053.00	2,060.75	2,035.50	2,022.50	2,015.00
先物	2,073.50	2,075.75	2,057.25	2,046.50	2,040.50

出来高 直物 先物

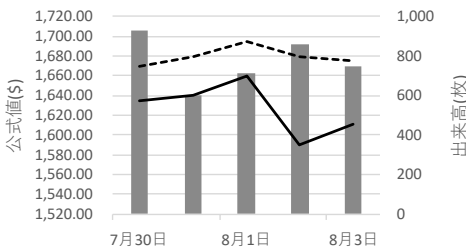
LMEアルミ合金



	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日
出来高	168	164	164	164	164
直物	1,672.50	1,770.00	1,695.00	1,672.50	1,735.00
先物	1,725.00	1,775.00	1,737.50	1,737.50	1,740.00

出来高 直物 先物

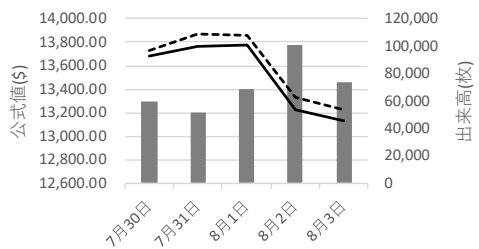
LME北米特殊アルミ合金



	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日
出来高	932	601	712	859	750
直物	1,635.00	1,640.25	1,660.00	1,590.00	1,611.00
先物	1,670.00	1,680.00	1,695.00	1,680.00	1,675.00

出来高 直物 先物

LMEニッケル



	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日
出来高	59,114	51,032	69,048	100,725	73,641
直物	13,687.50	13,760.00	13,777.50	13,222.50	13,125.00
先物	13,727.50	13,875.00	13,860.00	13,327.50	13,222.50

出来高 直物 先物

7月の銅マーケットレポート及び8月の見通し (3)

橋本アルミ (株) 橋本健一郎



【伸銅品生産】

伸銅品生産は前年比-3.3%の7万434 t、2か月ぶり減少。内需は5万8,707 t -2.3%、3か月振りマイナス。

輸出は1万1,727 t -7.7%、2か月ぶりマイナス。銅条は2万3,233 t -2.4%、3か月ぶりマイナス。黄銅棒は1万5,778 t -8.5%、2か月ぶりマイナス。

【電線】

前年比+3.5%の5万9,700 t。

うち国内+2.5%、輸出が+43%、通信-9.1%、電力+3.9%、電気機械+1.3%、自動車+3.6%、建設電販+5.8%、その他内需+4.8%。

【輸出】

電気銅輸出が+30.7%の5万3,627 t。銅スクラップは-15.8%の2万6,963 t。

【輸入】

電気銅が-33.6%の995 t。スクラップは+17.5%の1万2,106 t。

【見通し】

・自動車は生産が+4.6%。国内販売台数が前年比+1.2%。生産が3か月連続プラス、販売が3か月振りプラス。販売増が継続するかどうか今後に注目。

・住宅着工の動向については、前年同月比で-7.1%と3か月ぶり大幅マイナス。大幅減が続くのか今後の動向に注目。

・伸銅品は2か月振り減少、前年比-3.3%。需要の多い銅条3か月連続マイナス、黄銅棒は3か月ぶりマイナス、輸出2か月ぶりマイナス。自動車生産が3か月連続プラスと改善、銅品生産も改善するか今後の動向に注視。

・電線は前年比+3.5%の5万9,700 t、輸出が+43%。需要の多い自動車、建設電販がそれぞれ+3.6%、+5.8%。

建設電販が3か月連続プラスに！

・銅輸出は地金は円安から増加、スクラップは内需用途から減少。

・銅輸入は大幅円安から地金は減少、内需用途からスクラップは増加。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は前半月半ばごろの建値84万から73万まで下落し塩漬け漬け状態。需要面に関しては足元の生産状況が比較的良好。品費の良いスクラップは安値で拾えれば買い気ありだが品費の低いスクラップに関しては使用に手間がかかるため購買意欲は薄く飽和状態になるのではないかと？

【価格・為替予想】

今月は米中貿易戦争と鉱山ストの動向に左右される。

米貿易戦争に関しては、中国商務部が「米国の貿易に関する脅し、いじめは理解できず報復措置を取らざるを得ない」との発表！トランプ米大統領も7月に公表していた2,000億ドル分の中国製品を対象とした対中制裁の関税率を当初の10%から25%に引き上げるよう米通商代表部（USTR）に指示するなど貿易戦争の長期化の様相。鉱山ストに関しては、エスコンディダ鉱山の労組が投票でスト突入を承認したことから長期化の様相。これらを踏まえた8月の銅価格は、米貿易戦争で両国間で歩み寄りが見られ、エスコンディダ鉱山で昨年同様労使交渉が決裂した場合6,500ドル付近。

両条件が揃わなかった場合現状から6,000ドル付近まで下落するとの予想。

為替は、上記材料からドル円値は110円～112円（TTM）台を予測。

銅建値に関しては700～770円程度と予測している。

【「7月の銅マーケットレポート及び8月の見通し」終了】

第77回 8月のCOMC（銅公開市場委員会）声明

第77回 COMC声明

- ①電気銅 建値予測 690-750円
- ②銅相場のトレンド ベア
- ③LME銅セツル予測 5,800-6,500ドル
- ④為替トレンド予測 円安高
- ⑤ドル円予測(TTM) 109-113円
- ⑥スクラップ景況感

お盆休み前の回収、整理依頼で多少入荷が増える模様。猛暑で作業効率はがた落ちとの事。

【概況】

前半は、チリ鉱山をめぐる供給不安や米雇用統計の内容を好感するなどのプラス材料もあったが、米国が500億ドル（約5.5兆円）規模の中国製品に対する追加関税発動に向け動き出した。これに対し、中国も同規模の米国製品に対する報復関税を表明したことを嫌気

しDOWN。

7月15日時点で6,166ドル（セツル）と月初価格より429ドル安の前半締めとなった。

後半は、BHP傘下のチリ・エスコンディダ銅山での賃金交渉をめぐるスト突入の恐れが高まっていること、欧州は貿易問題でアメリカとの貿易戦争はやめて落とすところを探る方向にいくなどプラス材料もあったが、中国商務部が「米国の貿易に関する脅し、いじめは理解できず報復措置を取らざるを得ない」との発表！トランプ米大統領も7月に公表していた2,000億ドル分の中国製品を対象とした対中制裁の関税率を当初の10%から25%に引き上げるよう米通商代表部（USTR）に指示するなど貿易戦争の長期化を懸念し下落。8月3日現在、後半スタート価格から80ドルDOWNの6,063ドル。建値75万円のスタート。【次頁へ】

今後の動向であるが、今回のCOMCにおいては、
A・米中貿易戦争の動向

B・23～25日のジャクソンホール会議

以上の意見が非常によく聞かれた。

A、に関しては報復関税VS報復関税の流れから出口が見えずまた話し合うなどの提案も未だないことから長引くのではないかと？

B、に関しては貿易戦争の拡大による経済への影響を鑑みて、利上げのペースを落とす(もしくは凍結)ことが示唆されるのではとの観測が一部メンバーからあったが、今年の利上げに関してはコンセンサスができており、来年の利上げがいつまでに何回行われるかに市場の注目は行っているので期待薄。

これらを踏まえ、当委員会としてはベアの見通しを立てた。

米中貿易戦争で緩和に向かう何らかの話し合いや政策が出て、ジャクソンホール会議で利上げペースを落とすなどの緩和メッセージが出た場合、6,500ドル付近。両条件が揃わなかった場合現状からもう一段安の5,800ドル付近まで下落するとの予想。

【議長】 橋本健一郎 (橋本アルミ) 大阪

【委員】 荒井義明 (荒井明商店)

角井聡一郎 (角井地銅商店)

勅使河原孝行 (テシ商店)

棚町祐次 (IRユニバース)

故銅市況

9日入電の海外相場は、LME (ロンドン金属取引所) 銅相場の直物前場売値が、前日の6,132.00ドルより19.00ドル安の6,113.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,146.50ドルより7.50ドル安の6,139.00ドル。カーブ取引は前日の6,175.00ドル～6,176.00ドルより3.00ドル安の6,172.00ドル～6,173.00ドル。COMEX (ニューヨーク商品取引所) の銅相場(8月限)は、前日の274.10セントより0.05セント安の274.05セント。SHFE (上海先物取引所) の銅相場(8月限)は、前日の4万9,290元より150元高の4万9,440元。

9日の東京為替市場TTSレートは、前日の112.45円より0.54円の円高ドル安の1ドル=111.91円。NYカーブLME先物比は2.00ドル高。9日に入電したLME銅相場のセトルメントは6,113.00ドル。この値と9日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の72万9,000円より5,000円安の72万4,000円。この日、電気銅建値は72万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が587～592、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは568～573、並銅は507～512、込銅(高品位=約97%)は467、セパは455～460。コーペルは要り用筋で446、それ以外は438ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋441、それ以外424～449どころの値頃。並青銅鋳物削粉は440～445どころ。

小口市相場(1トン前後)では、ピカ線が590～595、上銅新くずが557～577、普通上銅が524～534、2号銅線が530～540、並銅が495～496、込銅(90-93%)が454～421、下銅が300～350、セパが422～432、コーペルが378～418、黄銅棒地が434～439、黄銅削粉が382～429、黄銅ラジが333～341、交叉ラジが320～331、黄銅銅鋳物が358～365、送りが190～205、上青銅鋳物が450～466、並青銅鋳物が442～455、上青銅鋳物削粉が447～466、並青銅鋳物削粉が440～444どころ。

為替動向

8日から9日午前にかけての外国為替市場で円相場は1ドル=110円台後半に上昇した。

9日の東京外国為替市場、午前9時の気配値は、1ドル=110.87円～110.90円、前日の17時時点比0.07円の円高・ドル安。8日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は、1ドル=110.90～111.00円、前日の同時刻比0.30円の円高・ドル安だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.42円の円高・ドル安、1ドル=110.90円～111.00円で取引を終了した。

米トランプ政権が、160億ドル相当の中国製品に対し23日より25%の追加関税を課す方針を発表。これに対し、中国政府も同規模の米国製品に対する報復関税方針を示した。ニューヨーク市場では、米中摩擦が長期化するリスクがあらためて意識され、低リスク通貨とされる円が買い進まれた。米長期金利が低下したこともドル売りを誘った。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、110.90円～111.19円だった。

9日午前の東京市場では、米中貿易摩擦激化への警戒感から、円買い・ドル売りが先行。東京株式市場で日経平均株価が一時100円を超える下げとなったことで、リスク回避の円買いも入ったもよう。

新 断
新ダライ
高価買取します。

(株)エイワ産業

〒577-0536 東大阪市渋川町 2-2-2

☎ 06-7891-8180

FAX 06-7891-8170



LME銅は小幅反落 米の対中関税制裁加速の動きを嫌気
カーブ取引も小幅で反落 COMEX銅相場も小幅反落 SHFE銅相場は続伸
LME非鉄相場はまちまち 値動きは概ね小幅 ニッケルは3営業日の続伸

9日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,131.50ドルより18.75ドル安の6,112.75ドル。3か月物も、前日の6,165.50ドルより23.50ドル安の6,142.00ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の24万8,000トンより約1,000トン増のおよそ24万9,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（8月限）は、前日の274.10セントより0.05セント安の274.05セント。カーブ取引は、前日の6,175.00ドル～6,176.00ドルより3.00ドル安の6,172.00ドル～6,173.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（8月限）は、前日の4万9,290元より150元高の4万9,440元。

7日、米国のトランプ政権が知的財産権侵害に対する制裁として中国製品に対する追加関税を23日から課すと発表したことを受け、8日中国政府は米国製品に大規模な報復関税を課す方針を明らかにした。このことが、中国政府のインフラ増資など景気刺激策を期待した楽観論に支えられ買い戻しが促進した前日の相場に水を掛けた。ただ、原油の先物相場が大きく下げていることもあって、銅の下げは小幅。現在、銅の下値抵抗線は6,000ドル近辺と考えられている。

錫はまちまち

LME錫相場の直物は、横ばいの1万9,750.00ドル。3か月物は、前日の1万9,637.50ドルより55.00ドル高の1万9,692.50ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(8月前半)

2S=197円～205円、63S=194円～198円、アルミホイール(1P)=189円～194円、ビス付サッシ=143円～147円、エンジンコロ=149円～151円、込合金(機械鋳物)=145円～147円、缶プレス(ソフト)=112円～127円。

関西地区(8月前半)

2S=192円～200円、63S=190円～194円、52S=202円～206円、印刷版=195円～200円、アルミホイール(1P)=178円～183円、ベースメタル=202円～207円、機械鋳物=149円～154円、ダライ粉=124円～126円、ビス付サッシ=144円～149円、缶プレス=130円～135円。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 **林 昭宏**

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
 電話 06-6471-2531～5
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
 電話 03-3618-2351～2

鉛は続伸

LME鉛相場の直物は、前日の2,122.25ドルより8.25ドル高の2,130.50ドル。3か月物も、前日の2,134.00ドルより11.00ドル高の2,145.00ドル。

亜鉛も続伸

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,647.50ドルより8.00ドル高の2,655.50ドル。3か月物も、前日の2,601.25ドルより18.25ドル高の2,619.50ドル。

アルミは反落 アルミ合金はまちまち 北米特殊アルミ合金は上伸

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,026.25ドルより4.75ドル安の2,021.50ドル。3か月物も、前日の2,052.75ドルより8.25ドル安の2,044.50ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,695.00ドルより44.50ドル安の1,650.50ドル。3か月物は、横ばいの1,700.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,602.50ドルより27.50ドル高の1,630.00ドル。3か月物も、前日の1,635.00ドルより30.00ドル高の1,665.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ117万トンより約8,000トン減のおよそ116万3,000トン（丸め込み）。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,747.50ドルより170.00ドル高の13,917.50ドル。3か月物も、前日の13,850.00ドルより110.00ドル高の13,960.00ドル。

LME公式値（単位：ドル）／8月8日（現地）

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公式値	6,112.75	19,750.00	2,130.50	2,655.50	2,021.50	1,650.50	1,630.00	13,917.50
	前営業日比	▲ 18.75	0.00	8.25	8.00	▲ 4.75	▲ 44.50	27.50	170.00
先物	公式値	6,142.00	19,692.50	2,145.00	2,619.50	2,044.50	1,700.00	1,665.00	13,960.00
	前営業日比	▲ 23.50	55.00	11.00	18.25	▲ 8.25	0.00	30.00	110.00

海外非鉄金属相場

(8月9日 入電・現地 8月8日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, N Y コメックス相場) and rows for market data (前買, 場売, 後買, 場売, 現物, 前日比, 先物, 出来高).

Table with columns for market types (フリー・マーケット, N Y 相場, ロンドン相場 (ドル), K L T M 錫 (Mドル/キロ, 出来高トン), L M E 在庫 (トン), コメックス銅在庫 (トン), 上海在庫 (トン), N Y カーブ) and rows for prices and trends.

Table for 上海相場 (Shanghai Market) with columns for metal types (銅, アルミ, 亜鉛, 鉛) and rows for monthly limits (8月限, 9月限) and daily trends (前日比, 出来高).

Table for 採算価格 (Breakeven Price) with columns for metal types (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル) and rows for LME, COMEX, and Shanghai prices in Yen.

非鉄金属製品相場

(8月9日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	940	980	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	950	990	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1110	1180	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1140	1160	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	810	840	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	920	970	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	930	970	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	1000	1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	920	980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1200	1210	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	810	840	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	835	855	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	990	1050	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1370	1330	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1355	1375	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	670	690	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	700	720			
四角棒	730	750	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	710	730	白金(グラム)	◆3305	
ネーバル	810	830	パラジウム(グラム)	◆3574	
高力	810	830	金(グラム)	◆4722	
黄銅線6ミリ	1025	1075	銀(キログラム)	◆62310	
黄銅平角線ロール仕上	1230	1290			
黄銅条1.5×100	800	835	レアメタル輸入価格	6月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	金属ケイ素(99.99%未満)	253	
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	モリブデン酸化物	2210	
リン青銅棒25ミリ	2120	2130	タンタル	58345	
リン青銅線3ミリ	2280	2260	マグネシウム	258	
洋白板一般用1.0ミリ	2730	2680	コバルト	10264	
〃 バネ用1.0ミリ	2920	2880	インジウム	34161	
減摩合金	8月1日改定		銅合金地金	8月1日発表	
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京
1種	2725		BC 1種	795	—
2種	2650		2種	965	—
3種	2575		3種	1010	—
4種	2275		6種	855	—
5種	2195		7種	885	—
7種	895		YBSC 3種	705	—
8種	805		LBC 3種	975	—
9種	725		PBC 2種	1030	—

合金鉄	6月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	144
〃 その他	174
フェロシリコン55%以上	164
フェロクロム4%以上炭素含有	154.8
フェロモリブデン純分60%以上	2038
フェロバナジウム	5764
フェロニッケル33%未満	404.5
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

